

# 感染症情報 10月23日～29日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①咽頭結膜熱	760例(堺市	55例)
②溶連菌感染症	738例(堺市	67例)
③感染性胃腸炎	677例(堺市	71例)
④手足口病	97例(堺市	6例)
⑤流行性角結膜炎	37例(堺市	3例)

府下305医療機関(堺市29)から

**インフルエンザ 3,859例(堺市 449例)**

報告数による順位である。前週比8.1%増の2,420件の報告であった。咽頭結膜熱が府下で8%増、定点当たり3.58→3.86であった。堺市で前回58例→今回55例。定点当たり3.05→2.89であった。溶連菌感染症が府下で13%増、堺市は前週・今週とも67例。感染性胃腸炎が府下で前週比9%増、堺市で前週91例→今回71例であった。手足口病が府下で11%増、堺市で前回2例→今回6例であった。流行性角結膜炎が報告数で5位となった。府下で8%減、堺市で前回4例→3例であった。飛沫感染のほか、強い接触感染があるため、要注意である。

インフルエンザが府下で前週比12%増、堺市で4%減であった。定点当たり大阪府は11.27→12.65になった。堺市は16.17→15.48であった。

府下305医療機関(堺市29)から

**新型コロナウイルス感染症 555例(堺市 46例)**  
**大阪府定点 1.82 堺市定点 1.59**

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
16	34	28	91	43	59	58	68	44	66	48	555

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前週771例→今回555例は28%減、定点当たり2.53→1.82であった。堺市は前週90例→今回46例で49%の大幅減、定点当たり3.10→1.59であった。堺市が久しぶりに大阪府の平均を下回った。

麻疹や風疹の報告はなかった。